

[06] 地域健康文化学論輯表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/26551>

出版情報：地域健康文化学論輯. 6, 2012-03-31. 地域健康文化学会
バージョン：
権利関係：

編集・運営メモ

1. 地域健康文化学会・地域健康文化研究所の活動も日々盛んになって参りました。
みなさまのご協力とご参加の賜物と心から感謝申し上げます。
2. 国会図書館のご好意により迅速に ISSN を得ることが出来ました。感謝申し上げるとともに、今後、不手際の無いように、発刊ごとに送付しなければなりません。
3. 本誌は、CD-ROMというメディアで刊行します。
今後ともCD-ROMという性格を活用して、さまざまな試みを行っていきたいと思います。アイデアをお寄せいただければ幸いです。
4. 年度末、年度途中に関わらず、常勤・非常勤を通して会員の異動があります。現実を踏まえて勤務先や肩書きの表記は以下のように行います。
 - ・口頭発表に関しては、発表時の立場を記す。
 - ・掲載論文については、異動前の立場を記すとともに、編集時に確定しているものは異動後の立場を注記します。
5. 専攻、授業科目などなるべく詳しく記します。特に、学生や専任の教職以外の方は自己紹介の意味を含めて詳細にご協力をお願いしました。感謝申し上げます。
6. 講演の場合には、内容の書式と資料を整え論文にふさわしい形にするなどし、また、書評、調査資料、文献資料、企画資料など、資料として保存しておきたいものや、絵画、写真、音声、文芸作品などの掲載も行います。
7. 掲載論文については今号も事務局の責任で複数の査読を実行いたしました。論旨を確認しつつ何度も読み、それに基づいて手を入れていただきました。関係各位に感謝いたします。
8. 口頭発表は原則として、事務局に依頼された時点で、日程調整、会場予約などを行います。一人につき2時間くらいの時間帯を準備し十分に議論することを目的としますが、申し込みが多数の場合は、シンポジウム形式のように、それぞれの発表が相互に関連できるものを優先的にとりあげます。早めの申し込みをお願いします。
9. 年会費（年度区切りは年末年始）については、規約に基づき全員から徴収します。そのつどの聞き手についてはこれまでどおり当日参加費のみ。論文掲載に関する負担金については、投稿規程を参照のこと。
10. 共同研究についても、当論輯に特集するとともに、単行本刊行を目指したく存じます。興味深いテーマを募集します。
11. この論輯および学会、研究所の情報は、<http://chiikikb.kan-be.com/> をご参照下さい。また、お申し込み、ご意見などは、chiiki-kb@mail.goo.ne.jp にお寄せ下さい。
12. この論輯の購入に関しては、支部事務局にEメールで問い合わせてください。
13. 執筆者自身で印刷し抜き刷りを作成することができます。表紙を印刷して付けるか、抜き刷り用の書式をご使用ください。また、全体の印刷・製本も会員に限り可能です。添付の背表紙をご利用ください。

14. 学会運営のスタッフや会費等は毎年初頭（原則的に1月）に決定し承認しますが、緊急の議題に関してはそのかぎりではありません。
15. 2010年9月30日現在の学会幹事会構成：
荒木正見（会長）、壬生正博（副会長）、徳永光展（幹事）、
藤原まみ（幹事）、駄田井直子（幹事）、荒木雪葉（幹事）
（なお、当研究所の理事を兼ねます。役職はそのままスライドします。）
16. 本誌の著作権は地域健康文化化学研究所に属します。但、当該原稿の著者自身に限り、その限りではありません。

地域健康文化学会・地域健康文化化学研究所のご案内

1. 会則：

- ① 本会は「地域健康文化学会」と称する。
- ② 本会は会員相互の研鑽と協力により地域、健康、文化、および、それら相互の研究の発展に努めることを目的とする。
- ③ 本会は前条の目的を達成するために、以下の事業をおこなう。(1) 大会および研究会、ワークショップなどの開催。(2) 機関誌(地域健康文化化学研究所機関誌を兼ねる。)や論集の発行。(3) その他本会の目的を達成するのに必要な事業。
- ④ 本会は、地域、健康、文化、および、それら相互の研究に従事し本会の趣旨に賛成する者をもって会員とする。
- ⑤ 本会に会長一名(本会を代表し会務を総括する)と、副会長(会長を補佐する)、幹事(会の運営に関与し会務を処理するなど実務に従事する。)など若干名を置く。
- ⑥ 本会の経費は会費、寄附金その他の収入による。
- ⑦ 本会の事務局は地域健康文化化学研究所に置く。
- ⑧ 附則(2009.7.19)：本会の会員は正会員・学生会員の二種に分けられる。正会員の年会費は5000円、学生会員の年会費は3000円とする。いずれも大会・研究会・ワークショップなどの折に払うか、振り込むこと。(振込先は本誌末尾をご覧ください。)

2. 口頭発表者募集のお知らせ(地域健康文化学会) 地域健康文化学会では口頭発表者を募ります。内容は、学術論文発表のほか、ワークショップやフィールドワークの報告などをお願いします。一名でも発表のご希望を意思表示されれば調整のうえ、大会開催の運びとします。ご連絡は chiiki-kb@mail.goo.ne.jp までお願いします。

3. 研究所の内容：①設立：2009年6月16日。②健康で文化的な生活環境を、総合的視野から、創造、デザインし、すべての人が助け合い、心身ともに健康に生きることを目的として、先進的研究を行うとともに、心身の人格的能力を高め、社会的還元として、講演会、研修会、町おこし、創作活動、その他の実践活動を行います。③研究や業務において作り上げたデータを論文や資料、報告などの形で保存蓄積し、公表するとともに、各人の業績とします。④インターネットを利用した研究所システムです。実際の活動は、それぞれの活動にふさわしい場所を随時利用し、インターネット上および office で情報を集約します。(office の住所は本誌末尾をご覧ください。)) ⑤研修会、講演会、創作品の展示などは公共の施設その他企画にふさわしい場所を利用します。⑥研究所員は、大学教員、大学院博士課程学生などを運営の軸として、スポーツ指導者、伝統文化指導者、都市デザイン・地域おこし専門家、企業経営・行政担当者などの専門家集団によって構成されます。

4. 研究所の詳細は、<http://chiikikb.kan-be.com/> をご参照ください。

論集（電子刊行物）「地域健康文化学論輯」Journal of Community, Health, and Culture
[ISSN 1884-3174] 投稿規定 2011. 9. 30

1. 本誌は、地域健康文化学会の発表機関誌であるとともに、地域健康文化学研究所の活動報告誌を兼ねるものです。
2. 所員、会員、広い範囲の投稿を歓迎します。
3. 本誌は CD-ROM で刊行します。（全体の製本、抜刷製作が各自で行えるように、表紙・背文字・抜刷表紙などのフォーマットを添付します。）
4. 本誌の性格上、論文の他、報告・資料・記録・創作作品・写真作品なども掲載します。
5. 原則として半年毎に刊行し、刊行日は原則として 3 月末日および 9 月末日とします。
6. 投稿内容は、地域、健康、文化およびそれら相互の関連に関するもので、未発表のものに限ります。
7. 論文投稿原稿は、400 字詰原稿用紙 30 枚程度以上 50 枚以下を原則とします。
（極端に超過する場合はご相談下さい。図表や写真も規定の枚数に数えます。）
8. 投稿はフロッピーディスク、CD-ROM などの電子情報でご提出ください。電子情報は、原則的に Microsoft Word 文書でご提出ください。Microsoft Word 以外のワープロソフトをお使いの場合は、ソフト名を明記してください。
9. 編集と掲載の採否は編集委員会の審査を経て行います。査読（複数）は研究所内外の適任者に要請します。論文の改訂をお願いする場合があります。
10. 縦書き、横書きいずれでも結構ですが、横文字が含まれる場合には可能な限り横書きにしてください。
11. ふりがなは対象語の後に（ ）で付けてください。編集に支障がでるため、ワープロソフトのルビ機能や、また、脚注機能は用いないでください。
12. 自作の外字を用いないでください。シフト JIS、Unicode に無い漢字は画像貼り付けによって表示してください。
13. 引用、参考文献については、原則として本文の最後に下記の要領で表記してください。
著書（単行本）：著者名・『書名』・発行所・発行年（西暦）
訳書：原著者名・訳者名・『書名』・発行所・発行年（西暦）
雑誌：著者名・「表題」・『雑誌名』・巻号数・発行年（西暦）
14. 題目および執筆者の英文表記を明記してください。
15. 投稿締切日は、原則として毎年 2 月末日および 8 月末日とします。
締切は厳守のこと。提出原稿は完成原稿とします。校正は行われますが、大幅な直しにかかる費用などは各自ご負担いただきます。
16. 写真や図、絵、音楽、音声は可能な限り掲載したいと思いますが、経費や技術の関係上、割愛する場合があります。その際は執筆者にご相談いたします。
17. 執筆者の責任を自覚するために、毎号の参加費を 5000 円と定めます。
18. 投稿・問い合わせ先のアドレスは、chiiki-kb@mail.goo.ne.jp です。
19. 本誌の著作権は地域健康文化学研究所に属します。但、当該原稿の著者自身に限り、その限りではありません。
20. 本誌のすべては九州大学附属図書館学術情報リポジトリに電子的に格納され、全世界から自由に閲覧されます。格納を拒否される方は原稿提出時にご明記ください。

地域健康文化化学研究所への参加方法

下記の 1.2.いずれの場合も**役員**の承認を必要とします。

chiiki-kb@mail.goo.ne.jp に履歴書を添えてお申し込み下さい。

(下記「組織」項目をご参照ください。)

1.

修士課程以下の学生：

地域健康文化学会に学生会員（年会費 3000 円）として参加してください。

自動的に地域健康文化化学研究所会員となります。

2.

修士以上の資格を持つものかそれと同等の業績を有するもの：

地域健康文化学会に会員（年会費 5000 円）として参加してください。

自動的に地域健康文化化学研究所員となります。

修士以上の資格と同等の業績については、下記、所員の項目 5 を参照のこと。

3.

研究所所員一人以上の推薦を受け、役員によって承認されたかたは、年間研究所会費（現行 10000 円）を納めて地域健康文化化学研究所会員となることができます。

地域健康文化化学研究所組織

研究所役員（研究所長・研究所副所長・研究所委員）

当研究所の企画・運営に携わる。

所員のうち、役員が認めた者は役員に加わることができる。

研究所員

1.

役員による資格審査に合格したものは、所員となることができる。

2.

審査基準：修士以上の資格を持つものかそれと同等の業績を有するもの

3.

当研究所において自由に研究し、指定された企画に参加し、論集に応募することができる。

論文制作の指導なども研究所員などによって受けられる。

但し、特殊な研修、研修旅行などの特別企画や、特別な教材、特別なアドバイザーを必要とするものは別途経費を必要とする。

4.

所員は地域健康文化学会に所属しなければならない。

5.

なお、当研究所は学問的研究活動を軸に、広く社会に開かれるものである。従って、研究所員も、修士以上の資格を持つ方のほかに、医療や教育・企業経営など社会的な実績のあるかた、スポーツやスポーツ指導で実績のあるかた、芸術・芸能などで実績のあるかた、伝統文化、文化活動などで実績のあるかた、など社会的にご活躍のかたがたや、大学・市民講座などで講師をされたかたがたなどを、広く研究所員としてお迎えしたい。その場合、地域健康文化学会に会員として所属されれば自動的に研究所員になる。学会では、論文発表以外にも、過去の貴重なご経験のご報告も歓迎している。（ご参加希望のかたは、当研究所のメールアドレスにお問い合わせください。）

研究所会員

1.

研究所所員一人以上の推薦を受け、役員によって承認され、年間研究所会費（現行 10000 円）を納めた者は、会員となることができる。

2.

地域健康文化学会学生会員は、自動的に研究所会員となる。

3.

当研究所の講演会・研修会・ワークショップのうち指定されたもの（毎月一回以上）に参加することができる。

但し、特殊な研修、研修旅行などの特別企画や、特別な教材、特別なアドバイザーを必要とするものは別途経費を必要とする。

.....

地域健康文化学研究所組織・住所・連絡先

※これらの情報はセキュリティの関係上、HP には一部しか公開していませんが、必要な場合もありますので、当誌上には掲載いたします。

地域健康文化学研究所 office : 811-1362 福岡市南区長住 5-9-10-202

地域健康文化学研究所事務局 : 811-1362 福岡市南区長住 7-7-3 荒木正見方

事務局への電話連絡は 携帯 090-8620-3926(荒木)をお願いします。

組織 :

研究所長 荒木正見

研究所副所長 壬生正博

研究所委員 徳永光展 藤原まみ 駄田井直子 荒木雪葉

研究所 HP : <http://chiikikb.kan-be.com/>

研究所 Email : chiiki-kb@mail.goo.ne.jp

振込先 : ゆうちょ銀行普通預金 (記号) 17400 (番号) 63661701

(宛名) 811-1362 福岡市南区長住 5-9-10-202

地域健康文化学研究所 代表者 荒木正見